

# 広報 天龍

第 200 号

2020年12月24日

私たちの村

-12月1日現在-

人口 1,209 人

男 574 人 女 635 人

世帯数 676 世帯

発行 天龍村役場  
編集 総務課  
印刷 斎藤印刷所

## 村長2期目初登庁&就任式



職員から花束を受け取る永嶺村長

### ◆永嶺村長2期目のスタート

11月11日(水)朝、2期目の出発を迎えた永嶺誠一村長が役場に初登庁しました。

晴れ渡る秋空の下、永嶺村長は徒歩で初登庁。役場前に整列した職員全員と「ひじタッチ」をしながら正面玄関へ。職員から贈呈された花束を笑顔で受け取りました。

その後行われた就任式にて、2期目の村政への抱負や職員への訓示を述べました。



職員全員と「ひじタッチ」で登庁



就任式での訓示

～ おかげさまで「広報 天龍」は創刊200号を迎えました～

## 二期目の就任にあたり

天龍村長 永嶺 誠一



この度の天龍村長選挙におきまして、無投票ではありましたが村民の皆様からご信任をいただく中で、2回目の当選をさせていただくことができました。

ご支援を賜りました村民の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、改めて村政運営を担っていく重責に身の引き締まる思いであります。

私は、今回の選挙に当たり改めて村内を回って村民の皆様の声をお聴かせさせていただきました。その中でも、特に、新型コロナウイルス感染症対策や天龍村診療所の医師確保対策、7月豪雨等の災害復旧対策などの喫緊の課題に対するご不安やご意見、並びに子育て支援や産業振興、教育、インフラ整備などに対する要望など多岐にわたっていただきました。

そうしたご意見等を通じて私が感じたことは、村民の皆さんが1日も早く元の平穏な生活に戻り、将来にわたって安心して住み続けられるようにしてほしいなど、総じて「安心感」を求めている方が非常に多かったということでした。私は、今後において、こうした不安要素を少しでも早く取り除くことを最優先で取り組んでいかなければならないと改めて意を強くしたところでございます。

過疎化、少子高齢化など村の抱える課題は山積していますが、選挙公約として掲げた「村民の皆様とともに村民の皆さんが住んで良かったと思える村（安心・誇り）そして、将来にわたって夢をいただける村（希望）を創る」ということを基本理念として、「高齢者にやさしい村づくり」、「つながりから住みたい村づくり」、「確かな生活を営めるパワフルな村づくり」、「安心して暮らせる村づくり」、「子どもの笑顔があふれる村づくり」、「少子高齢化時代をリードする持続可能な村づくり」という6つの重点施策を着実に進めていきたいと思っております。

具体的な政策については、担当課と調整しながら、各分野、各事業ともスピード感を持って進めてまいります。

年号も「平成」から「令和」に変わり、近い将来、リニア中央新幹線が開業したり、三遠南信自動車道が開通したりする時代が確実にやってまいります。村民の皆様のご意見をお聴かせいただきながら皆さんとともに英知を結集し、天龍村がそうした新たな流れの中でも「小さくとも将来にわたって輝き続ける村」、「やっぱり天龍村がいいと思える村」の実現を目指して、私自身、誠心誠意努めてまいります。

村民の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

### 村表彰・国民健康保険健康家庭表彰

令和2年度村表彰及び国民健康保険健康家庭表彰の授与式が11月15日(日)の天龍村文化祭の中で行われました。

本年度の受彰者は次のみなさんです。おめでとうございます。

#### 表彰状

○坂本芳子さん(向方区)  
○大平宮正さん(松島区)

長年にわたり、民生児童委員として社会福祉の増進に寄与されました。

○川西政幸さん(飯田市)

長年にわたり、天龍村診療所長、村の学校医等、地域医療に貢献されました。

○ハンガープロジェクト

村の木材を使用したハンガーを作成、世界のトップアスリートへの配布等の活動により村へ活力を与えていただきました。

#### 感謝状

○宇津恵万司女さん(岡本区)

長年にわたり、天龍梅花駅伝の運営ボランティアとして貢献されました。

して貢献されました。

○滝沢英夫さん(埼玉県)

○遠山英克さん(飯田市)

○深川政和さん(北海道)

○富田次郎さん(滋賀県)

○羽場篤嗣さん(栃木県)

村に多額の金員を寄附いただきました。

○遠山明徳さん(岡本区)

村に貴重な彫刻を寄贈いただきました。

○(故)熊谷幸雄さん、熊谷久子さん(飯田市)

村に貴重な絵画などを寄贈いただきました。

○㈱飯田ケーブルテレビ様(飯田市)

村に大型テレビを寄贈いただきました。

○宮澤好正さん(中央区)

ハンガープロジェクトのハンガー作成の過程において貢献されました。

○ジャニーズグループ

「SmileUpProject」

(株)ジェイ・ストーム様

(株)ジャニーズ出版様

7月豪雨の被災地及び被災住民への支援として村へ多額の金員を寄付いただきました。



表彰状の受彰者

#### 国民健康家庭表彰

【村表彰】

○滝澤金龜さん(西原区)

○安達トシ子さん(本町区)

○大平晃与さん(岡本区)

○小林茂子さん(下山区)

○吉澤幸男さん(鶯巣宇連区)

○村松五江さん(梨畑区)

国民健康保険の被保険者であり、3年以上にわたり保険証を使用しなかった世帯で、国民健康保険税を完納した世帯のみなさんです。なお、滝澤金龜さんにつきましては、5年間無受診となり、長野県国民健康保険団体連合会の健康家庭表彰も重ねて受彰となります。

### 関浦雅志氏に叙勲

元村議会議員の関浦雅志氏に2020年秋の叙勲(旭日双光章)が授与され、11月6日(金)に県庁で知事伝達式が行われました。関浦氏は、平成元年5月から平成25年4月まで天龍村議会議員を務められ、在職中の平成17年5月から平成19年4月までの2年間は、副議長を歴任するなど、6期24年の永きにわたり、地方自治の発展に尽力された功績が認められ、今回の受章となりました。



県知事から伝達される関浦雅志氏(県庁にて)

### ◆◆天龍村長選挙の結果◆◆

11月10日の任期満了に伴う、10月25日執行の「天龍村長選挙」は、10月20日の告示日に立候補届出の締め切りをした結果、永嶺誠一氏1名の届出でしたので無投票となりました。

なお、村長の任期は令和2年11月11日から令和6年11月10日までの4年間です。



長年、学校医を務められた元天龍村診療所長の川西政幸氏に

長年、学校医を務められた元天龍村診療所長の川西政幸氏に、長野県教育委員会より教育関係功労者表彰が授与されました。

川西政幸氏は平成元年4月から令和2年3月末までの31年間、天龍村学校医として天龍小・中学校の健診など学校保健の業務に尽力された功績が認められ、今回の受彰となりました。

## 天龍村租税教育推進協議会 令和2年度 税に関する作文の受賞者

天龍村租税教育推進協議会では、租税教育の一環として次の世代を担う子供達に税について関心を持ってもらい税の大切さを知ってもらうため、毎年、小中学生を対象として「税に関するポスター・作文」の募集を行っています。

本年度は、新型コロナウイルスの影響による授業計画の変更等の影響もあり小学生からのポスターの応募はありませんでしたが、中学生17名より作文の応募をいただき、11月15日(日)の天龍村文化祭の中で表彰式が行われました。各賞を受賞されたみなさんおめでとうございます。

賞名	学校名	学年	氏名	賞名	学校名	学年	氏名
天龍村租税教育推進協議会長賞	天龍中	1年	熊谷彩香	関東信越税理士会飯田支部長賞	天龍中	1年	山崎ここね
飯田税務署長賞	天龍中	2年	熊谷彩葉	飯田信用金庫天龍支店長賞	天龍中	1年	遠山 楓
南信県税務所長賞	天龍中	2年	熊谷美枝	みなみ信州農業協同組合南信濃支所長賞	向方中	3年	牧田風世
飯田地区納税貯蓄組合連合会特別賞	天龍中	3年	橋 礼人	平岡郵便局長賞	天龍中	1年	成瀬陽人
天龍村議会議長賞	天龍中	2年	板倉壘々	飯田間税会長賞	天龍中	3年	大澤希美
天龍村教育長賞	天龍中	3年	橋 慶司郎	天龍村租税教育推進協議会特別賞	天龍中	1年	宮下昇己
天龍村商工会長賞	天龍中	1年	中島陽翔		天龍中	3年	熊谷翔太
天龍村青色申告会長賞	天龍中	3年	金澤実生		向方中	3年	兼平広樹
(社)飯田法人会天龍支部長賞	天龍中	3年	橋本梨花				



協議会長より各賞が授与されました



みんなで記念撮影

ジャンニスグループの「Smile Up! Project」の一環として、株式会社ジャンニス出版及び株式会社ジェイ・ストーム代表取締役社長藤島ジュリー様から、令和2年7月豪雨による被災地に対して多額の寄附をいただきました。村の災害対策事業に有効活用させていただくとともに、紙面をもって厚く御礼申し上げます。

**7月豪雨災害に対してジャンニスグループより多額の寄附をいただきました**

天龍村ふるさと寄附金は、村のホームページのほか、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からも申込みができます。決済方法は金融機関からの振込みのほか、クレジットカードも可能です。電話、ファックス、役場窓口でも承っています。

◎ふるさとチョイス <http://www.furusato-tax.jp/>

本人の希望により氏名を公表できない方がいます。今回は245名の方から寄附をいただきました。ありがとうございます。

● 鎌倉之彦様 ● 遠山英克様 ● 岡陽一郎様  
 ● 千葉雅仁様 ● 岡庭隆志様 ● 東 剛己様  
 ● 中本博幸様 ● 齊藤雅弘様 ● 朝長伸治様  
 ● 藤沼亮太様 ● 大槻隆之様 ● 宇土晃央様  
 ● 中田藤七様 ● 大脇和彦様 ● 鷹野公生様  
 ● 市地賢治様 ● 天野竜郎様 ● 中村一平様  
 ● 岩釜隆平様 ● 佐藤正幸様 ● 源田達也様  
 ● 太田正樹様 ● 山本明彦様 ● 佐藤弘美様  
 ● 奈良健太郎様 ● 小笠原大介様

広報天龍第199号(10月号)で公表後、11月30日現在で寄附をいただいたみなさんは次のとおりです。

**ふるさと寄附金**  
 ありがとうございます

# おかげさまで「広報天龍」は創刊200号！

41年前の昭和54年5月に定期発行化された「広報天龍」は、おかげさまを持ちまして、今号で創刊200号を迎えることができます。

そこで、今号では200号記念特集として、16年前の平成16年4月号で特集しました「100号記念特集」以降に発行された101号から前号までの中から、村の節目に発行された号をピックアップし、「広報天龍」とともに村の近年史を振り返ります。



「広報天龍」創刊号（昭和54年5月）

## この号からピックアップ



『地域と一体化したプロジェクト教育推進特区』で国の認定を受けました

※関連記事→8ページ

◎第101号（平成16年7月）

### ◎平成16年度よりブックスタートを実施します

◆ブックスタートとは… 1992年に英国で始まった運動で、「赤ちゃん」と本を通して楽しい時間を分かち合うこと」の支援を目的としています。現在、約500の市町村で取り組まれています。

◆目的は… 赤ちゃんの成長にミルクが必要のように、赤ちゃんの心と言葉をはぐくむためには抱っここの暖かさの中で優しく語りかけ、ゆったりと過ごす時間が必要だと言われています。赤ちゃんはこうした語りかけを通して愛されている事を感じ、それにより人を信頼し、言葉を介して心を通わせることを学びます。また、家族にとっても心豊かなひと時となり親子関係や子育ての環境づくりにも大きな意味を持ちます。天龍村でも、赤ちゃんの誕生を祝福し、赤ちゃんへ絵本のプレゼントを通し、本に親しんでいただきたいと考えます。

◎奄美大島の夏を満喫

ドラゴンのまち交流・龍郷町

8月10日から12日までの3日間、天龍小学校五年生が「天龍村ドラゴンのまち交流派遣団」(板倉恒夫教育長を団長とした総勢17名)として鹿児島県龍郷町を訪問してきました。

この「天龍村ドラゴンのまち交流派遣事業」は、平成10年度からほぼ毎年実施し、今年度で6市町目の訪問となります。

今回訪問した町は、鹿児島県奄美大島の北東部に位置する龍郷町でした。「龍」のつく市町村の中では最南端にある町で、東シナ海と太平洋に面し、自然豊かがかつ、大島紬に代表される歴史と伝統文化を大切に継承している町です。加えて、気候と同じ人情のとても暖かい町でした。

(後略)

この号からピックアップ



◎第108号 (平成17年9月)

◎第113号 (平成18年7月)



この号からピックアップ

◎農家にホームステイ

天龍村で初めてとなる、中学生農家ホームステイが6月8日・9日に行われました。

この事業は、南信州観光公社が平成10年度から行っており、主に関東、関西の中学生が1泊2日で村内の家庭に宿泊し、農作業や林業をお手伝いすることを通して交流をはかるものです。今回は、試験的に村内5つの家庭にご協力いただきました。千葉県の中学2年生19名が来村し、1泊2日の農業体験を行いました。

来年度は、村内に広く募集しますので、天龍村の良さを都会の子供達に知っていただく為に、大勢の皆さんのご協力をお願いします

◎ハナモモ苗木200本植樹  
天龍村花の里づくりの会

「天龍村花の里づくりの会」では、3月24日天龍村松島地区天竜川河川敷にハナモモ200本の植樹を行いました。

昨年の3月から竹林の伐採に取り組み、今年度は県のコマンス支援金を得まして、大勢に皆さんのご協力により、ようやく植樹を行うことができました。

当日は40名の村民のみなさんが参加してくださり、スムーズに植樹することができました。植樹したハナモモは、清内路村から購入し、来年にはきれいな花が咲く見込みです。

この号からピックアップ



◎第118号 (平成19年4月)

◎第122号 (平成19年12月)



この号からピックアップ

◎下水道加入が余野地区で

100%となりました

平成12年度より一部供用開始となった下水道も、早7年を経過しております。

今年度は現在で2件の下水道接続続世帯があり、それに伴い余野地区において地区別の下水道接続率が天龍村において初の全世帯接続となりました。

先日行われました上下水道審議会の際に、余野区へ下水道事業へのご尽力されたことへの表彰状を贈りました。

今後の下水道事業においては維持管理費が加算されてくるのが予想され、現在加入している方への負担増が懸念される状況になっております。これを回避する為にもより多くのみなさんの加入をしていただくようお願いいたします。

◎お楽しみ券で納税や

公共料金の支払いができます

村では、商工振興の活性化対策とお楽しみ券活用の利便性を目指して、天龍村商工会の協力もと「お楽しみ券」に限り、村税や公共料金の支払いに充当できる事務取扱を今年の5月1日から始めます。

これは、商工会から地元の商店でもっと買い物をしてもらいたいとの要請を受けて制度化したものです。

納税や公共料金の支払いは、地方税法や地方自治法上、現金及び証券に限られており、本来お楽しみ券での納付は認められておりません。そこで、村職員が納入通知書と共にお楽しみ券の台紙を一時預かり、天龍村商工会で現金に換える手続きを代行して行い、納付するものです。

このような一連の作業により、村民の利便性が図られますので、是非、お楽しみ券の有効活用をお願いします。

この号からピックアップ



◎第130号 (平成21年4月)

◎第133号 (平成21年10月)



この号からピックアップ

◎村営バスを小型化しました

少子高齢化による村営バス利用者の減少や既存バスの老朽化による維持費の増大へ対処するため、国の施策として市町村などへ交付された地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し村営バスを新しくしました。

これまでの大型車を小型化することによって、維持費の縮小や国道などの運行ルート通行止めの影響を最小限にするなど、村の公共交通機関としての役割を最大限に発揮し、持続可能な運営を確保することで、村民のみなさんに安心して利用いただける村営バスになりました。また、車両と地面との間にステップを取り付けることで乗り降りが楽になりました。

多くのみなさんのご利用をお待ちしています。

### ◎東日本大震災救援物資を 県の支援窓口へ届けました

3月11日に発生した東日本大震災によって、東北地方から関東地方にかけて、極めて広い範囲で甚大な被害が発生しました。村では村民のみなさんからご提供いただいた救援物資を3月22日に下伊那地方事務所へ無事搬送いたしました。ご協力いただいたみなさまありがとうございます。また、救援物資は長野県を通じ被災地へ送られます。

また、役場・龍泉閣・おきよめの湯に設置されております義援金につきましては、4月13日現在、84万7、872円の義援金をみなさまからいただき、3月24日に栄村へ20万円、4月13日に日本赤十字社を通じ東北地方へ50万円を送金いたしました。みなさまのご支援に感謝申し上げます。

### ◎この号からピックアップ



◎第142号 (平成23年4月)

### ◎第146号 (平成23年12月)



### ◎この号からピックアップ

#### ◎「おきよめっち」 着ぐるみが完成しました

おきよめ観光協議会では、温泉のマスコットキャラクター「おきよめっち」の着ぐるみ製作に取り組み、この秋完成を迎えました。11月20日の天龍村文化祭で村内のみなさんにお披露目をしたところ、早くも子どもたちに大人気です。「おきよめっち」は、これからも村内のイベントに積極的に参加し、天龍村やおきよめの湯のPRを行って参りますので、みなさんよろしくお願ひします。

### ◎復活！玄米パン

村の名物として、みなさんに大変親しまれてきた「玄米パン」が復活することとなり、9月15日、龍泉閣2階ふるさと農産物加工施設前広場において、販売や試食といったオープンイベントが行われました。

玄米パン製造を行っているのは「サン天龍」(代表・宮澤敏夫氏)で伝統の味を再現しています。

「あん入り」、「あん無し」ともに5個入りで450円。今後は、龍泉閣や村沢菓子店、おきよめの湯などで販売していきますので、みなさんのご愛顧よろしくお願ひします。

### ◎この号からピックアップ



◎第157号 (平成25年10月)

◎第160号 (平成26年4月)



この号からピックアップ

◎2月大雪の被害状況

2月14日から15日にかけて、南岸低気圧の発達により降り続いた大雪では、観測した積雪量が役場周辺で概ね50センチ、神原地区の標高の高い地域で約120〜150センチと記録的な状況で、村内全域で長期間にかけて交通の乱れ、倒木、停電、家屋の損壊や農業施設の倒壊など、甚大な被害が発生しました。

村では、各地区の区長さんをはじめ現地との安否確認、情報交換を行い、孤立の長期化が予想された地域に向けて、長野県防災へりを出動要請し、支援物資投下をはじめ、対策に取り組みました。また、村内の建設業者による懸命な除雪作業を行いました。また、各路線での倒木や、積雪の質が湿気を帯び重たかったため作業が難航し、一部では即日の住居への到達には至らず、数日間に渡り孤立状態となった方もおられました。(後略)

◎複式学級が始まって

天龍小学校で複式学級が始まって、3か月が経ちました。1、2年生4名の子どもたちは毎日元気に登校しています。

さて、複式学級の担任を初めて経験する中で、複式学級のよさを多く感じています。特に、他の学年の友だちと一緒に生活することで生活経験が広がっているよさを感じています。

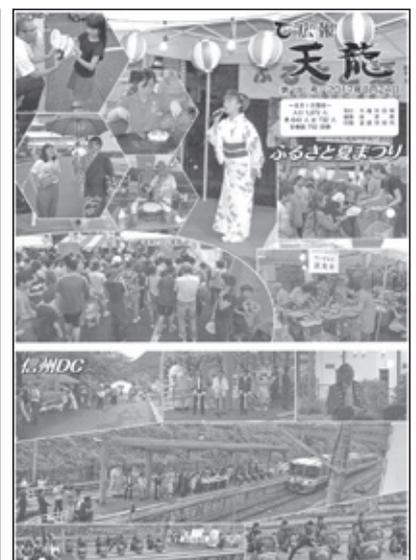
給食や係など、クラスの仕事は4人で分担して行っています。1年生は仕事がうまくできないことがあります。上手にやる方法を2年生がやさしく教えています。教えてもうまくできない時には2年生なりに工夫してよりわかりやすく教えようとしています。(中略)

複式学級の担任は、授業の準備や活動の計画など2学年分やらなければならないので忙しいと感じることもあります。1、2年生の子どもたちが意欲的に活動してくれるので、とてもやりがいを感じます。

この号からピックアップ



◎第179号 (平成29年7月)



◎第180号 (平成29年8月)



◎第190号 (平成31年4月)

200号を迎えた「広報天龍」は、これからもみなさんに村内外の情報を正確かつもれなくお伝えするため、記事の内容を充実させ、みなさんに愛される広報誌づくりを目指してまいります。

村のホームページでは、平成12年1月号から最新号までの「広報天龍」を見ることができ、200号特集として101号から前号までの記事をピックアップして掲載しましたが、100号記念特集(平成16年4月号)をご覧ください。

http://www.vil-tenryu.jp/  
wp-content/uploads/2019/03/k0404.pdf